

かぜのきざし

2014 MARCH

風の萌

特定非営利活動法人(NPO)
在宅ケアを支える診療所・
市民全国ネットワーク機関紙

第025号

2014年3月31日

安心して子育てができ 老いても障がいがあっても 自分らしく暮らすことができる コミュニティの創造



開催日 平成26年(2014)9月14日(日)・15日(月・祝)
場所 岡山コンベンションセンター
〒700-0024 岡山県岡山市北区京元町14-1 フォーラムシティビル 086-214-1000

名譽大会長 山口 昇 (広島：公立みづき総合病院 特別顧問)
大会長 青木 佳之 (岡山：医療法人 青木内科小児科医院 理事長)
副大会長 阿武 義人 (山口：医療法人社団 青藍会・社会福祉法人 青藍会 理事長)
森本 益雄 (鳥取：医療法人社団 もりもと 理事長)
高橋 幸男 (島根：医療法人エスアール出雲クリニック 院長)
岩本 恵子 (広島：医療法人わかば会)
片岡 仁美 (岡山：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座 教授)
宮原 伸一 (岡山：岡山アライズ・ケア学会 会長)
実行委員長 福嶋 啓祐 (岡山：医療法人 福嶋医院 理事長)
大会事務局 青木内科小児科医院
医療法人 〒701-0204 岡山県岡山市南区大福281-5 086-281-2277

キーワードは
「イノベーション」、「包摂」
岡山大会まで半年となった3月8日、全国の集いin岡山2014 第2回実行委員会が当日の会場となる岡山コンベンションセンターにて行われました。
青木大会長、福嶋大会実行委員長を初め岡山市のご担当者、NPO在宅ケア全国ネットワークより苛原会長を始め全国から理事の方々、地元の医療・介護関係の方々など30名近い参加の中、開催されました。

NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 第20回 記念大会 全国の集いin岡山2014 岡山大会までいよいよあと半年

いのちとくらしを守る地域づくり
地域包括ケアシステムと
在宅ケアを支える診療所・市民の役割
吉備の国から日本が変わる～歴史・文化・人～

再び、思いを込めて…

青木大会長は1999年に同地域で開催された『第5回全国の集いin岡山』においても大会長を務められ、今回は15年ぶり、2度目の大会長ということになります。

医療・介護をめぐる社会的環境は、この15年間に大きく前進し、『多職種協働』『地域包括』とその深さ、広



がり共に社会に認知されるようになってきました。

大会長として、その状況を人一倍感じていた青木大会長にとって、この15年間の締めくくりとしての思いが何らかの形で結実する、そんな期待を持たせる大会として多に注目を集めるものと思います。

活発なプレ大会

その流れに因應するかのよう
に、例年先立って開催されて
いる「プレ大会」も昨年の新
潟大会終了以降、6回の開催



が決定されており(3回は既に終了)、これまででない盛り上がりを見せている。背景には当「在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク」(略称:在宅ケア全国ネット)の理事会においてプレ大会への補助金(20万円を限度とする)の仕組みが確立され、プレ大会開催を後押しする仕組みが出来た。これにより今後のプレ大会の敷居がより低くなり、プレ大会の開催が容易になったこともあるが、それでもこの回数の多さは注目に値する。地域医療・介護とい

う問題が社会全体の共通課題となりその必要性が回数に現れたものと言えます。

より成熟した大会へ

今回の第2回実行委員会において、冒頭、青木大会長

◆プレ大会レポート◆

去年の新潟大会から今年の岡山大会までに次々とプレ大会が開かれています。この流れは、ネットワークの活動が徐々に浸透してきた事の表れではないでしょうか。

会員の皆様も近隣でプレ大会が開催されるようでしたらぜひ参加してみても如何ですか。プレ大会に付いてどの様な事が行われているのか、特に直近にあった山口プレ大会、岡山プレ大会、東京プレ大会についてご報告します。

山口プレ大会の報告

平成25年11月16日(土)、17日(日)にかけて、山口県総合保健会館にて「第3回竹内教授の認知症を治す研究会 in 山口」が開催されました。

このプレ大会は「認知症は治せる」との竹内教授の理論のもと、認知症の正しい理解とケアの習得を目的とした研

究会です。一日目は「認知症を治すポイント」基に、認知症のタイプ判定から症状に合った正しいケア方法までを具体的に学びました。

二日目は、全国より認知症改善事例、神奈川県川崎市における「認知症あんしん生活実践塾」の事例発表があり、講師・発表者・参加者によるディスカッション形式での検

みつである高齢化社会に対応する医療・介護活動の背景をより成熟させた形で第20回記念大会に臨もうとする大会長の意欲を現わされており、言葉やスローガンだけでなく、より成熟した大会になることが期待されています。



討会を実施しました。

今回は第3回目の実施でしたが、回を重ねるたびに参加者も増えており、認知症ケアへの関心が大きくなっていることを感じます。さらに今後、超高齢者社会が進み、認知症

患者をご家族や地域で支えていく時代になります。今後も研究会の開催を継続し、認知症改善への取り組みを地域へ発信していきたいと思っています。

岡山プレ大会の報告

平成25年12月1日(日)に岡山コンベンションセンター3Fコンベンションホールにて「地域包括ケアシステムの構築のシンポジウム」が開催されました。

このプレ大会は地域包括ケアシステムの構築と取り組みに向けて、各機関が各々の役割を地域医療と介護サービス提供の連携を試行の検討を目的としたシンポジウムでした。

基調講演では、厚生労働省政策統括官 内閣官房内閣審議官(社会保障・税一体改革担当)の唐澤剛先生に医療・介護サービス提供体制や地域包括ケアシステムの構築に向けての国の施策を進められている視点でご講演をいただきました。



特別講演では、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座の片岡仁美教授に地域医療等社会的ニーズに対応した医療人養成プログラムや女性医師の活躍、病児保育の取り組みについてご講演いただきました。

シンポジウムでは、岡山県立大学 保健福祉学部保健福祉学科の増田雅暢教授に座長をお願いし、シンポジストには、岡山プライマリ・ケア学会(岡山県医師会プライマリ・ケア部会)の宮原伸二会長が、岡山プライマリ・ケア学会の活動と多職種連携による「む

すびの和」について、岡山市役所 保健福祉局の森真弘局長が、岡山市の地域ケアに向かつての新病院・保健福祉政策推進と在宅医療・医師養成について、NPO法人岡山県介護支援専門員協会の堀部徹会長が、岡山県介護支援専門員協会の活動と地域包括ケアシステムにおけるケアマネジャーの役割について、真庭市認知症地域支援推進会議の作本修一会長が真庭市における認知症を中心にしたネットワークづくりについて発表していただきました。

そして第20回全国の集いin岡山2014の大会長で、全国地域包括・在宅支援センター協議会の会長の青木佳之が地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域包括・在宅介護支援センターの役割と介護サービスのネットワーク化について発表させていただきました。

シンポジウム後のフリーディスカッションでは参加者の皆様からシンポジストへのご意見やご質問をアンケート形式で行ったところ、時間内

では紹介できないほど多くのご質問がありました。

今回のシンポジウムを終えて、住み慣れた地域で最後まで暮らせるよう、医療や介護、福祉分野が連携して在宅での生活を支援する為には、自治体や医療、介護関係者だけでなく、住民も巻き込んで仕組みを整えていくことが大切だと感じました。

東京プレ大会の報告

平成26年1月19日(日)に東京駅八重洲口の八重洲ビルにて「地域包括ケアの進めかた」というタイトルで東京プレ大会が開催されました。

基調講演は慶応義塾大学教授である、田中滋先生の「地域包括ケアの目指すもの」でした。

シンポジウムは、医師の立場から和田忠志さん、宅老所の立場から安西順子さん、市民の立場から尾崎雄さんの3名の講演がありました。これらのシンポジストは今

回、関東近県の会員の皆さまへの公募で選ばせて頂きました。3名以外に応募していた、西田伸一さん、吉永隆行さん、佐賀宗彦さんには、指定発言としてお話しして頂いております。

シンポジウムの討論ではフロアからの意見も出て、活発に行われました。皆さんの関心が高い事項だけに討議にも熱が入っておりまして。最後に田中先生が、熱心な討議に感謝の言葉を述べ、明日からの皆さんが何をやるべきか考えてくださると、コメントを述べてプレ大会を終了しました。



理事会報告

理事会報告（2013 年度 第 3 回）

日 時：2014 年 2 月 16 日（09：00～13：00）

場 所：貸し会議室プラザ 八重洲北口

出席理事：苛原実、長縄伸幸、藤村淳子、畑恒土、石田一美、桑原由次、黒岩卓夫、福田善晴、青木佳之、吉永隆行、岡崎和佳子、大川延也、村山善紀、中嶋啓子、井村隆、金田弘子、吉井敦子、小林るつ子、長純一

欠席理事：大澤誠、森本益雄、金井秀樹、宮坂圭一、多湖光宗、渋澤温之、太田秀樹、新田國夫、上村伯人、西嶋公子、萩田均司、永井康德、草場鉄周

（いずれも敬称略）

全国の集い in 岡山 2014 実践交流会カテゴリー及び担当座長が決まりました。

- | | |
|-----------------------|------|
| ・ 認知症 | 大澤 誠 |
| ・ 緩和ケアと見取り | 西嶋公子 |
| ・ 口腔ケアと栄養管理 | 大川延也 |
| ・ 在宅生活の継続 | 石田一美 |
| ・ 訪問と通所サービス | 福田善晴 |
| ・ 地域包括ケア（ケアマネジメントを含む） | 金田弘子 |
| ・ 新しい試み | 上村伯人 |
| ・ 薬と生活 | 金井秀樹 |
| ・ 岡山大会枠カテゴリー 2 枠 | 選定中 |

（以下議事録より抜粋、要約）

事務局より：

- 会員数 494 名（医師・法人会員 291、事業所会員 60、市民団体会員 4、市民会員 139）
- 風の萌 発行状況報告
- 岡山大会準備進捗状況報告
- 新潟大会における実践交流会発表のフォローについて
- 実践交流会内容のアーカイブスの WEB 閲覧について
- 会計報告

理事会内容：

- プレ大会 活動報告
- 2013 年 12 月 7 日北海道大会企画検討会を行ったと報告。
- 個人情報規則案を作成し次理事会に提案する。
- 役員選任規則を出された意見に従って修正した。
- 来年度からは事業計画を提出し、予算請求をした事業へ会議費を支出したい。その為には次理事会で次年度の事業計画を検討する必要がある。
- プレ大会運営規則を明文化し、次理事会に提出する。
- 実践交流会運営規則を明文化し、次理事会に提出する。
- 岡山大会とプレ大会の進捗状況について報告

今後の予定：

- 第 4 回理事会 2014 年 5 月 25 日（日） 場所：名古屋
- 第 5 回理事会 2014 年 8 月 24 日（日） 場所：未定

在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

実践交流会アーカイブに付いて

実践交流会アーカイブを公開致します。

第14回京都大会から第19回新潟大会までのカテゴリをアーカイブ化しました。
新しく発行されたID・パスワードで会員専用ページにログインして下さい。項

目別のリンクが作成してあります。(図1)

項目は実践交流会の大会別・カテゴリ別に分類しています。ご覧になりたい項目をクリックして下さい。(図2) から目的の演題をクリックするとPDF(図3)

が立ち上がります。

Safariで不具合が発生しますが、PDFが開かない場合は、
①目的の演題にカーソルを合わせて、右クリック、
②メニューから、ファイル
をダウンロードを選択、

特定非営利活動法人 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

目次

- ホーム
- 全国大会
- 診療所・施設紹介
- 事務局からのお知らせ
- 会員からのお知らせ
- 全国求人情報(2)
- 全国求職者情報
- 会員書籍
- NPO紹介
- 広報誌風の萌
- バックナンバー

会員専用ページ

会員専用ページです。

活動報告書

活動報告書を閲覧できます。

[活動報告書はこちら](#)

実践交流会アーカイブ

当NPO会員等の発表した演題等を検索・閲覧できます。

[実践交流会アーカイブ 全件表示](#)

[実践交流会アーカイブ 第14 全国の集い 京都大会2008](#)

[実践交流会アーカイブ 第15 全国の集い 群馬大会2009](#)

[実践交流会アーカイブ 第16 全国の集い 名古屋大会2010](#)

[実践交流会アーカイブ 第17 全国の集い しんしゅう大会2011](#)

図 1

実践交流会デジタルアーカイブ

No	大会名	タイトル	演題
1	第14 全国の集い 京都大会2008	①地域連携と活動	①地域連携と活動
2	第14 全国の集い 京都大会2008	①地域連携と活動	在宅ケアと地域連携の意義についてー研修医・医学生教育の意義についてー
3	第14 全国の集い 京都大会2008	①地域連携と活動	在宅療養支援診療所の設置と、できないことと専門医の役割
4	第14 全国の集い 京都大会2008	①地域連携と活動	在宅療養支援診療所の設置と、できないことと専門医の役割
5	第14 全国の集い 京都大会2008	①地域連携と活動	在宅療養支援診療所の設置と、できないことと専門医の役割
6	第14 全国の集い 京都大会2008	①地域連携と活動	在宅療養支援診療所の設置と、できないことと専門医の役割
7	第14 全国の集い 京都大会2008	①地域連携と活動	在宅療養支援診療所の設置と、できないことと専門医の役割
8	第14 全国の集い 京都大会2008	①地域連携と活動	在宅療養支援診療所の設置と、できないことと専門医の役割
9	第14 全国の集い 京都大会2008	①地域連携と活動	在宅療養支援診療所の設置と、できないことと専門医の役割
10	第14 全国の集い 京都大会2008	①地域連携と活動	在宅療養支援診療所の設置と、できないことと専門医の役割

図 2

実践交流会デジタルアーカイブ

C01-1-10 「今」しかできないこと

発表者：中野孝雄（医療法人社 東京医療センター） 発表場所：八木会館（図2）

【はじめに】
在宅ケアの新しい仲間として出会った1人の医師、共に過ごした約半世紀の、愛着あるA氏の命の軌跡を振り返る。

【概要】
無病で成長してきた「若かり、人生において最初で最後の命の贈り物である、突然の脳梗塞発作の知らせ、残された命は3ヶ月である。急遽に進行していく病状にスタッフの心も揺れ動く。

「脳梗塞で突然倒れたA氏が、倒れた瞬間、薄れゆく意識の中でA氏の見た一瞬、A氏が行くところ」と約束する。余命宣告を受けたA氏は「A氏」ではない。余命宣告後のわずか1ヶ月、A氏は、愛する妻たちと暮らして命を全うする。

ターミナルとは何か、自分たちが「今」出来ることは何かと、スタッフとA氏の命を共に闘い、再び迎える別の命の贈り物、命の最後の贈り物のために自分たちが経験したことを報告する。

図 3

エレクトロニクスで病魔に挑戦

NIHON KOHDEN

わたしたちが、夢の実現をお手伝いいたします。

すべては、医院開業の成功のために。

61A-0294

60 おかげさまで創立60周年

ヘルスケアの未来を拓く

〒161-8560 東京都新宿区西落合1-31-4
創立 / 1951年 8月
事業内容 / 医用電子機器の開発・製造・販売、医院開業支援

日本光電 医院開業支援 [検索](#)

<http://www.nihonkohden.co.jp/iryo/practice/>
E-mail : Kaigy@mb8.nkc.co.jp

Mail Magazine

今回は「風の萌」より会員紹介のコラムの2013.12～2014.2月号を掲載いたしました。

この記事は毎月メールマガジンの記事として皆様に配布されている記事の転載版です。(スタイル等は一部変更しています。)メールマガジンでの配信はもちろん「多くの人に」、「迅速な」、配信が目的で、メールの特徴を発揮出来るものですが、現実としてメール配信されている数は「多くの人に」というにはまだまだ充実を計る必要があります。



新理事の紹介

「福祉玩具学会」理事長 小林るつ子

NPO在宅ケア支える診療所・市民全国ネットワークの大会には過去10回以上参加しています。仙台大会の時は川島孝一郎先生が大会委員長でした。当時、私の友人浅野史郎氏が宮城県知事で彼は私が主催する「福祉玩具学会」の名誉会長です。彼が、「これ

からの社会は超高齢化時代なので学ぶべきことがあるはずだ」と提言し大会に福祉玩具学会は参加を始めた。10年以上の間に多くのことを学びました。

40年前、玩具のコンサルタントと大学では教鞭を取りながらボランティア活動

で、障害児の為に「おもちゃ図書館運動」を推進して来ました。1981年の国際障害者年に全国組織を立ち上げ、これを支援する「おもちゃ図書館財団」を立ち上げました。1999年に国連大学にて「トイライブラリーの国際会議」を開催し、この全ての代表を若い方々に譲りました。その後、浅野史郎氏が「るつ子さん、2幕目を上げなさい!!」と言われました。はじめに関わりました日本中の障害児は、30歳―40歳です、障害高齢者です。多くのことを実践した、おもちゃ図書館活動から高齢化時代に何か役立つことを2幕目で活かすことにして「福祉玩具学会」を設立し玩具企業を入れて産学共同体として、社会貢献したいと思いました。

NPO在宅ケアを支える診療所・市民ネットワークの団体と私が立ち上げた「おもちゃの図書館」と「志」が同じで、

摂食回復支援食



摂食回復支援食とは… 通常の食事を取ることが難しい方の食べる機能と栄養摂取を支援するための食事です。



お問い合わせ・資料請求の連絡先



イーエヌ大塚製薬株式会社

東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング13階

お問い合わせ窓口

TEL.03-3515-0170

月曜～金曜 9時～17時(祝祭日、年末年始、お盆を除く)



新理事の紹介

(株)ケアフェニックス 萩田均司

昨年より理事の仲間入りさせていただきました、萩田均司

と申します。微力ではございますが在宅ケアを支える診療

「地域で生きること」を支えること」です。在宅の高齢者の方が笑顔で楽しい時を、お過ごし頂ければ幸いです。「玩具」は、身近で入手できて安価です。高齢者の方々が、被災地で家を失いかえることが出来ない高齢者の方々の支援もして居ます。

夢は実現しなくてはなりませんが、お力をお貸し下さい、小さな夢を大きく育てたいのです。

福祉玩具学会
〒191-0041
東京都日野市南平7-18-30
HP: <http://www.gangufukushigakai.org/index.php>

所・市民全国ネットワークに
関らせていただき貴重な機会をいただきましたので自己紹介させていただきます。

私は、南九州の宮崎県宮崎市で有限会社メディアフェニックスコーポレーション(薬局つばめファーマシーと住宅支援事業所つばめ)及び株式会社ケアフェニックス(高齢者等複合施設ケアヴィレッタナチュライふ恒久、ナチュライふ田野)を経営しております。私自身の資格は、薬剤師、介護支援専門員です。

平成15年に「地域のヘルスステーション」をスローガンに在宅訪問を行う薬局として薬局つばめファーマシーと住宅支援事業所つばめを開設しました。薬局には、ドライブスルーがあり感染症の方や歩行の困難な方が車に乗ったまま処方箋の薬を受け取ったり、OTC薬(大衆薬)の購入ができたります窓口が有ります。また、無菌調剤ができるクリーンルーム・クリーンベンチを備え、注射薬の混注やオピオイドの注射薬を携帯型持続注入ポンプに充填する調剤を行い癌末期や終末期の患者が最期まで自宅で過ごせ

るお手伝いをさせていただいております。住宅支援事業所つばめは、現在専任介護支援専門員4名(うち2名は主任介護支援専門員)で、地域に広く介護支援計画を作成し、多くの医療関係者・介護関係者と関わりを持って活動しています。

平成21年には、宮崎の多職種連携を支える会として「宮崎キョウケアネットワーク」を世話人の一人として立ち上げました。メーリングリスト、多職種交流会、市民フォーラムなどの活動を通して多職種が顔の見える関係作りをしております。

在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワークの活動を通して全国並びに九州、宮崎が、そして薬剤師が地域に関わり、在宅医療が推進出来る様お役に立ちたいと思います。「地域包括ケアシステム」の構築と、全国隔々まで薬剤師が訪問できる世の中」を目指して行きたいと思っています。

(有)メディアフェニックスコーポレーション
(株)ケアフェニックス
〒880-0916
宮崎県宮崎市恒久5073番地
TEL: 0985-63-0282
E-mail: tsubame@phoenix-hd.com HP: <http://www.phoenix-hd.com/>

新規購読のご案内

高齢者の住まいと介護・医療を考える

週刊 高齢者住宅新聞

～2014年4月2日号の主な特集内容～

- | | |
|---|----------------------------|
| <p>【医療編】</p> <ul style="list-style-type: none"> □新診療報酬 個別分析 □新報酬における在宅医療サービスの行方 □有力在宅医療機関医師のインタビュー □診療所緊急アンケート「新診療報酬 どう取り組む」 <p>【介護編】</p> <ul style="list-style-type: none"> □第6期介護保険制度改正分析 □要支援サービスの行方 □小規模デイサービス 今後の事業モデル □保険外ビジネスの可能性 □介護事業者緊急アンケート「今後の介護事業モデル」 <p>【総編】</p> <ul style="list-style-type: none"> □サ付き住宅の行方 □高齢者住宅向け金融商品 □ヘルスケアリートの動向 | <p>購読お申し込みは右記のいずれかの方法で</p> |
|---|----------------------------|

高齢者住宅新聞
媒体概要

- 発行形態 定期購読・タブロイド版(20ページ) 毎週水曜日発行(月4回)
- 主要読者層 施設運営協会、介護サービス会社、医療法人、社会福祉法人、人材サービス、給食・配食会社、不動産・建設会社、土地所有者、設備機器・建材、システム関連、金融関連、自治体ほか

年間購読料 20,000円(税別) ※送料込

TEL	03-3543-6852	※高齢者住宅新聞購読係とご用金のうえ、お名前、会社名、ご連絡先、ご住所をお知らせ下さい。
ホームページ	http://koureisha-jutaku.com	新聞購読申込
メール	info@koureisha-jutaku.com	
FAX	03-3543-6853	下記に必要事項をご記入の上FAX下さい。

株式会社高齢者住宅新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15
TEL:03-3543-6852 FAX:03-3543-6853 <http://www.koureisha-jutaku.com>

活動予定

第3回 北海道大会企画検討会	場所…札幌市 平成26年4月26日(土)
第3回 山陰プレ大会	場所…鳥取市 平成26年5月18日(日)
第4回 理事会	場所…鳥取大学米子キャンパス 平成26年5月25日(日)
第3回 岡山実行委員会	場所…岡山市 平成26年6月28日(土)
大阪プレ大会	場所…大阪府堺市 平成26年7月13日(日)
第5回 理事会	場所…大阪府堺市 平成26年8月24日(日)

奄美プレ大会

「シマ(地域)のか、全開!!」

速報



風の萌25号の発行直前に行われた奄美プレ大会の報告です。シンポジウム等の詳細は次号にさせていただきます。

3月22日、23日の両日、奄美市において開催されたプレ大会は「**独居高齢者を支えるシマ(地域)づくり**」をテーマにしております。奄美大島において「シマ」とは「地域」を表しており今回はその「シマ」のもつ力が多いに発揮された特長あるプレ大会となり、懇親会において更にその活気が参加者と一緒に盛り上がりを見せました。

NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 第20回 全国の集い in 岡山 2014 山陰プレ大会

日時 5月18日(日)

会場 鳥取大学
米子キャンパス 記念講堂
〒683-8503 鳥取県米子市西町86

参加費：無料(資料代500円)当日徴収、学生無料
定員：250名

お申し込み締め切り：4月21日(月)まで

主催：NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
全国の集い in 岡山 2014・山陰プレ大会実行委員会

内容

基調講演 9:30～12:00

●茨城県立健康プラザ管理者、茨城県立医療大学名誉教授 大田仁史氏

●鳥取大学医学部地域医療学教授 谷口晋一氏

シンポジウム 13:00～15:30

●医療法人ワイエイオーラルヘルスセンター

ワイエイデンタルクリニック 歯科医師 足立 融氏

●島根県浜田市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 竹本弘子氏

●前鳥取県連合婦人会会長 井上耐子氏

●森本外科・脳神経外科医院 看護部長 金田弘子氏

風の萌

2014年3月31日発行(第025号)

頒 価：1部50円 会員は無料

◆ 発行 特定非営利活動法人(NPO)

在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

TEL:052-848-8800 FAX:052-848-8801

http://www.home-care.ne.jp/net/ E-mail:zenkokunet@home-care.ne.jp

〒458-0007 愛知県名古屋市中区栄3-119 カーサフクシマC-32号

◆ 編集「風の萌」編集委員

∞∞∞編集後記∞∞∞

東日本大震災から3年。東京都心でも27センチの積雪を観測するなど、各地で記録的な大雪を降らせた冬も、花粉の本格飛散とともにやっと終わりが見えてきました。花粉症を患う私にとって苦しい季節ですが、東京事務局一同、今年の岡山大会の準備に向けて頑張っております。

(東京事務局/佐伯)